

令和5年度 多可町当初予算

【2期市政の基調】	住みたい町・住み続けたい町へ ～地域創生を目指して～
【令和5年度】	子育てするならダントツ多可町 生涯学び続けられる生きがいあふれる町

■一般会計 ■ 重点事業

☆新規 ◎ (○) 継続・拡充・再編

I 安全安心のまちづくり

◎新ごみ処理施設整備事業（継続） 221,224 千円

豊かな自然環境を守り、町民が健康で文化的な生活を営むため、適切なごみ処理を行い、ごみのない美しい町を目指します。

1市1町の新たなごみ処理施設整備に係る造成工事や工事監理業務などの負担金となります。

☆防災行政無線処理用電子機器更新事業（新規） 23,381 千円

耐用年数を迎える防災行政無線処理用電子機器について予防保守の観点から更新を行います。

◎地域交通対策事業（継続） 100,573 千円

路線バスの維持と利用しやすい運行体系の構築を進めながら、路線バスのバス停から概ね 500 m 以上に位置する世帯を対象にタクシー利用助成を行い、住民生活における移動手段を確保します。

また、路線バスを利用する町外在住の多可高校生に通学定期券助成を行うことで多可高校の活性化を支援します。

公共交通ネットワークの将来像及びそれを実現するための施策と具体の取り組み内容を示すため、令和4年度から2カ年かけて多可町地域公共交通活性化協議会が行う「多可町地域公共交通計画策定事業」について補助を行います。

○タクシー利用助成（継続） 1,800 千円○多可高校生通学定期補助（継続） 1,000 千円○多可町地域公共交通計画策定事業補助金（継続） 4,000 千円

III 地域共生社会づくりによる地域力・住民力の向上に向けて

◎地域共生社会づくり推進事業（継続） 3,566 千円

「地域共生社会」の実現を推進するため、地域課題の解決力強化、公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換を図る体制の整備等を目指した事業を展開します。

「コークゼミ・あったかは～とらいん」を継続開催するとともに、修了生の活躍の場を広げ、住民と協働したさらなる事業の推進・強化を図ります。

◎生涯学習まちづくりプラザ建設事業（拡充）.....**508,648 千円**

生涯学習に関する情報提供機能、学習スペースや交流機能、図書館機能などを備えた生涯学習を通じたまちづくりの拠点施設「多可町生涯学習まちづくりプラザ」を整備し、「生涯学び続けられるまち」の実現を目指します。

本年度は北アリーナの解体や造成、本体工事をはじめ用地買収などを行います。

☆高齢者補聴器購入費助成事業（新規）.....**【町単独助成】**.....**1,400 千円**

聴力機能の低下により日常生活に支障がある高齢者の方に補聴器購入費用を助成し、その活用を促進することにより社会参加や交流を促し、閉じこもり防止や認知症予防を図ります。

V まちへの愛着を醸成し、定住促進を図る

◎移住定住促進事業（拡充）.....**23,083 千円**

自然豊かで魅力ある町の情報を発信し、多可町への移住定住を促進します。

定住推進課をハブとして各集落の移住定住相談員や先輩移住者、空き家バンクを運営する地域商社RAKUなどと連携しながら町内外への広報及び町民の理解を深めるとともに、子育て・若年世代への住宅に関する支援など、包括的な施策を行います。

○あったか家族多世代住宅助成（拡充）.....**【町単独助成】**.....**8,230 千円**

若者世代や子育て世代が、多可町に住む親元の隣接地等で住宅を新築、増築、改築することを支援し、支え合いながらの居住を支援し、定住人口の増加を図ります。本年度から助成対象を拡大しきめ細やかな支援を行います。

○住宅リフォーム助成事業（拡充）.....**【町単独助成】**.....**4,000 千円**

安心して住み続ける住環境を目指し、住宅機能の維持や長寿命化対策に対し助成します。本年度から補助額の上限を 5 万円から 10 万円に増額して実施します。

○住宅ローン利子助成事業（継続）.....**【町単独助成】**.....**2,013 千円**

兵庫県信用組合との包括地域連携協定を踏まえ、町内に居住する若者・子育て支援策として住宅ローン利用者への利子補給を行います。

☆移住サポーターによるガイダンス（新規）.....**800 千円**

多岐にわたる移住相談について、先輩移住者や地元住民など様々な生活様式で過ごされている方々の協力を得ながら相談者の希望に添ったオーダーメイドでの対応を行える体制づくりに努めます。

◎空き家対策事業（継続）.....16,578 千円

人口減少及び少子高齢化で空き家の増加が社会問題化しているため、空き家等に関連する施策を総合的かつ計画的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与します。

また、移住ニーズに柔軟かつタイムリーに応え、空き家の利活用を促進するために空き家バンクの運営を外部委託し、その取り組みを強化していきます。

○空き家バンク運営事業（継続）.....2,500 千円

◎あったか結婚祝い金交付事業（継続）.....1,000 千円

若者世代（夫婦の合計年齢が 80 歳未満）がご結婚された際にお祝い金（10 万円）を支給します。

◎ふるさと多可町で開花応援奨学金返還支援事業（継続）.....1,900 千円

町内に住所登録があり居住する意思のある若者に対して、高校・大学等の在学中に貸与を受けた奨学金等の返還額の一部を補助することによりUIJターンを促し、若者の定住と地域の人材確保を図ります。

（前年度の奨学金等返還額の 1/2（年額 12 万円上限）、最長 5 年）

VI 地域特性を活かした多可町ブランドの推進

◎水田農業構造改革対策事業（継続）.....13,200 千円

酒米山田錦やコシヒカリ等による米作りを中心とした土地利用型の水田農業の活性化策として食料自給率の向上と農用地の持つ多面的機能を維持するために水田収益力強化ビジョンのもとで土地利用型農業による集団取組や特産物の栽培に対する助成を行い、力強い農業体系の確立を図る。

新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、日本酒の消費の低迷による山田錦の減産が危惧される中、その転換作物の集団作付けに係る補助体系を手厚くし生産者の支援を強化します。（令和 3 年度～令和 5 年度）

◎健康保養地事業（継続）.....7,137 千円

定期的なウォーキングプログラムの実施、ウォーキングコースの整備やガイドの養成、健康増進プログラムの構築、ヘルシーメニュー等の提供を、一般社団法人多可の森健康協会および森のホテルエーデルささゆりと協働して行います。

◎地域商社特産品販路開拓・人材育成委託料（継続）.....15,600 千円

エアレーベン八千代を拠点にラベンダー、杉原紙等地域の特産品を活用したパッケージ商品やギフト商品の開発、新商品の開発、「敬老の日」にちなんだ長寿の祝いシリーズのブランド化、カタログの作成、効果的な広告の実施、さらには独自のECサイトの作成などの取り組みを行いふるさと納税額の増加を図るとともに若手が育つ人材育成も行います。

◎山田錦発祥のまち発信事業（拡充）.....5,000 千円

日本一の酒造好適米である「山田錦」の発祥のまちとして、その名を全国に発信し、地域ブランドである山田錦の安定した出荷量、更なる品質向上により地域の活性化を図ります。

多可町ゆかりの蔵元の協力による試飲会イベント「多可町日本酒フェスタ 2023」の開催や「新規村米制度」に向けた活動助成などを行います。

Ⅶ 子育て支援ゾーンの整備と子育て支援の充実

◎アスパルきっずの運営（継続）.....2,340 千円

妊娠期から子育て期まで、切れ目なく支援を提供するための拠点としてアスパルきっずを設置、専任保健師 1 名を配置し、母子健康手帳の交付や妊産婦訪問、新生児訪問等をはじめとして、きめ細やかな相談支援等を行います。

◎子育てふれあいセンター運営事業（継続）.....5,902 千円

子育て中の親子の交流等を促進する支援拠点を運営し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和するため、「アスパルきっず」とも連携しながら、子どもの健やかな育ちを促進します。移住転入してこられた子育て世代の保護者等への支援として、子育てコンシェルジュサポーターを創設し役立つ情報の提供に努めます。

◎子育てふれあいセンター利用者支援事業（継続）.....6,405 千円

育児不安を軽減し、子育てに関する相談体制の充実を図るため、子育てふれあいセンターに「子育てコンシェルジュ」を配置し、「アスパルきっず」とも連携しながら、子育て支援と母子保健の両面から、当事者に寄り添った包括的な子育て支援を行います。

◎ファミリーサポートセンター運営事業（継続）.....3,090 千円

子育ての手助けをして欲しい人と、お手伝いができる人をつなぐセンターを運営

し、子どもの預かりや送迎などの支援を地域の支え合いにより展開し、子育て家庭の負担の軽減を図ります。

また、ひとり親家庭の利用、妊婦・乳幼児健診時の利用、兄弟姉妹の同時利用の場合の利用料の半額助成を2人目以降の不妊治療時の利用にも拡大します。

◎乳幼児等福祉医療助成事業（継続）.....【町単独助成】... 15,470 千円

乳幼児等（0歳児～小学3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

受給対象者に係る所得制限を無くし、支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有する乳幼児等の保護者（所得制限なし）

◎こども福祉医療助成事業（継続）.....【町単独助成】... 33,470 千円

こども（小学4年生～高校3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

対象となるこどもを高校3年生にまで拡大し、所得制限もなくすことにより支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有するこどもの保護者（所得制限なし）

◎小児インフルエンザ予防接種助成事業（継続）.....【町単独助成】... 3,780 千円

生後6か月から中学生までを対象に、インフルエンザ予防接種にかかる費用の一部を助成します。※2,000円／1回

◎在宅等育児手当（継続）.....【町単独助成】... 8,040 千円

満1歳から満3歳になった年度末までの乳幼児を日中在宅で育児されている保護者等に月額1万円を助成し、家庭での育児に対して支援を行い、保護者が希望する子育てのあり方の選択肢を広げるとともに、保育と在宅育児の子育てを地域全体で支援していきます。

◎出産・子育て応援交付金事業（継続）.....9,066 千円

妊娠期から子育て期まできめ細かく関わることで、全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産や子育てができるように伴走型支援を行うと共に10万円（妊娠期：5万円、子育て期：5万円）の経済的支援を行います。

◎通園バス運営費補助金（継続）.....【町単独事業】... 6,000 千円

通園バスを自園運行している中区の3こども園の通園バス運営事業に対して補助対象経費の2分の1、200万円を上限に助成します。

☆通園バス購入補助金（新規）.....【町単独事業】 7,000 千円

認定こども園が通園用バスを購入する際、その費用の3分の2を助成し運営を支援します。

◎認定こども園等に係る主食費助成金（継続）.....【町単独助成】 2,448 千円

認定こども園等に主食費を支払っている満3歳以上児の保護者又は主食（ごはん等）を持参している児童の保護者に1名あたり月額600円を限度に助成を行い、子育てを支援します。

◎統合中学校開校準備委員会の運営（継続）..... 3,103 千円

◎統合中学校建設事業（継続）..... 18,876 千円

生徒数が減少する中、3つの中学校を統合し適切な学校規模を維持することにより充実した学習環境を提供していきます。

本年度は準備委員会を運営し、学校統合に向けた準備を進めるとともに、用地の買収等を行います。

☆小学校入学あったか祝金事業（新規）.....【町単独助成】 7,000 千円

次世代を担う子どもたちの健やかで生き生きとした成長を応援するとともに子育てに係る経済的支援を図るため、小学校入学時にお祝い金（5万円）を贈ります。

◎奨学金（ハートフル学業支援金）事業（拡充）.....【町単独助成】 3,240 千円

高等学校に在学する生徒のうち経済的理由によって修学困難な生徒に対し、教科用図書を購入等に必要な学業支援金（月6,000円）を給付します。物価上昇などを考慮し本年度より給付額を増額して実施します。

☆白川良一高校入学支援金事業（新規）.....【町単独助成】 3,200 千円

高等学校に進学する生徒のうち経済的理由によって修学困難な生徒に対し、入学時に必要となる費用の一部（8万円）を助成し、進学を支援します。白川教育生活支援基金を活用して実施します。

◎学習支援員の配置による学力向上事業（継続）..... 10,115 千円

全ての小学校に、抽象的・論理的な思考を必要とする学習が一層増加し、躓きやすいとされる小学3年生を対象として「学習支援員」を配置し、チームティーチングなど学力向上に向けた授業支援を行います。

☆部活動地域移行事業（新規）..... 2,845 千円

部活動の地域移行に向けて部活動地域移行コーディネーターや指導員を設置し、

検討組織の立ち上げやモデル事業の実施を進めていきます。

☆杉原谷小学校・春蘭の家改修事業（新規）.....5,000 千円

楮の刈り取りから皮むき、川さらしなど小学生の杉原紙づくりの拠点施設である春蘭の家について、屋根の葺き替え工事を行います。

IX その他主要事業

◎地域おこし協力隊事業（継続）.....34,316 千円

都市から農村への人口流動を目的に、定住と起業を目指した地域おこし協力隊を受け入れ、会計年度任用職員として雇用しながら最長3年間地域活性化を担うために活動を行います。本年度は3名が任期満了となり1名の募集を行います。

また、任期満了を迎えた隊員の町内での起業に対して補助金により支援を行います。（主な活動状況 4/1 予定）

- ※多可町版地域商社の運営支援 3名
- ※空き家の利活用と移住定住等の支援 1名
- ※播州織の技術と商工観光、地域情報の発信 1名
- ※道の駅「杉原紙の里・多可」駅長 1名
- ※多可町魅力発信事業の運営支援 1名

◎一時避難所地域共生施設整備事業（継続）.....18,000 千円

地域の一時避難所として位置づけする集落公民館等の避難所としての機能強化を行うもの、また地域共生社会づくりの拠点として、集落公民館等の整備を行うものに対して1集落200万円を上限に補助します。（2,000千円×9集落）

◎持続可能なむらづくり助成事業（継続）.....13,915 千円

地域（集落）において、地域特性を生かした活動やこれまでに定着したむらづくり活動、防災活動及び地域共生社会づくりを軸とした持続可能なむらづくりに対して町が独自に助成を行います。

また、集落役員への女性参画やコークゼミへの参加と修了について特別助成を行い、その取り組みを支援します。

☆エーデルささゆり改修事業（新規）.....25,900 千円

健康保養地事業の拠点である森のホテル「エーデルささゆり」について厨房や貯水槽の改修、厨房機器の更新など、適切にサービスを提供できるよう整備を行います。

☆文化会館舞台吊物機構改修事業（継続）..... 97,860 千円

☆八千代コミュニティプラザ空調設備改修事業（新規）..... 6,000 千円

☆ガルテン八千代テニスコート改修事業（新規）..... 7,995 千円

老朽化している人工芝の張替修繕工事を行い、快適かつ安心してプレーしていただける環境づくりに努めます。

◎道路維持管理事業（継続）..... 186,675 千円

■国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）■

◎モルゲンハイト八千代大規模改修事業（継続）..... 40,000 千円